

● わたしたちの事業 ●

これまで蓄積した豊富なノウハウや、他機関とのネットワークを有効に活用し、多方面からサポートしています。

▶ 研修・学習・啓発事業

女性のキャリア形成をサポートする「ハッピーキャリアプログラム」や男性向けの「イクメン写真コンテスト」など、年齢・性別・ライフステージに合わせてさまざまな事業を開催しています。



お仕事女子の放課後サロン

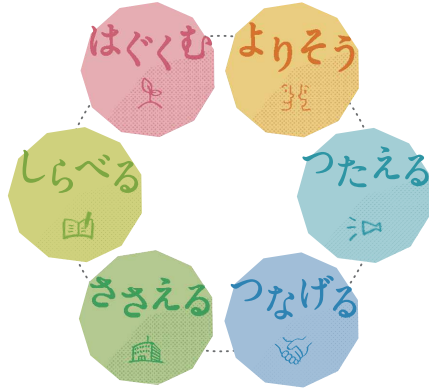
▶ 調査研究事業

「大阪市男女共同参画に関する市民意識調査」や「非正規シングル」の社会的支援に向けたニーズ調査などの調査研究を行っています。



▶ 相談事業

人間関係(職場・家庭)、DV、子育ての不安やキャリア相談などさまざまな悩み相談員がきめ細やかに対応します。



▶ 情報の収集・創造・発信事業

「男女共同参画情報誌 クレオ」やニュースレター、ホームページによって情報を発信しています。



▶ 市民活動推進事業

「起業」「子育て」「地域」など、同じテーマに関心のある市民が集まり意見交換する「交流の場」を設けています。



つながりママフェス

▶ 施設管理運営事業

各自治体から依頼を受け、8つの施設を管理・運営しています。



- クレオ大阪中央
- クレオ大阪子育て館
- クレオ大阪西こども文化センター
- クレオ大阪南
- クレオ大阪東
- 八尾市男女共同参画センター
- 大阪市立都島区民センター
- 四條畷市市民総合センター
- 四條畷市立公民館

# 大阪市男女いきいき財団 NEWS

vol.39  
2020.03

ニュース

## 女性チャレンジ応援拠点 利用者4,000人超に！

当財団が「大阪市女性チャレンジ応援拠点」の運営を受託してから、3年が経ちました。地域活動や社会活動を始めたい、活動を広げたい、情報が欲しい、そんな女性たちのチャレンジをサポートしています。

これまでたくさんの女性たちが訪れ、話し、交流し、イベントに参加し、その後の活躍を報告しに来てくださっています。ご利用は、のべ約4,000人、メンバー登録は約400人、取材させていただいたロールモデルは23人になりました。

### ★拠点利用者アンケートより(抜粋)

今後の取組について改めて自分の意志が明確になり、自信が持てました！ 話すこと、大切ですね。アウトプットの間があるということもありがたいです。

ぼんやりとした思いだけを持って相談に伺った初回から、わずか半年間で自分が使命感を持ってめざすものが見えてきました。おとなになって相談、協力、応援しあえる仲間と拠点で出会えたことにも感謝です。



## 女性チャレンジ応援拠点発！つながる交流

2月1日には、開設3周年記念として、「拠点女子トークセッション&つながる交流会」を開催しました。コーディネーターのリー・ヤマネ・清美さんからは、利用者とともに成長してきた拠点の支援機能や拠点ならではの役割、印象的だった出会い・エピソードなどをお話いただきました。1対1ではない空間でスタッフや利用者との対話による生み出される効果や、「通う」ことで自分の学びを深めるという利用の仕方は、運営側も想定していなかった「拠点ならではの」活用方法であることが挙げられました。



(左) 事例を紹介するリー・ヤマネ・清美さん (右) 事例を紹介いただいた4人の「拠点女子」

様々な分野で自らの活動を広げた「拠点女子」4名のゲストスピーカーからは、「自分の中にある可能性を引き出してもらった」「チャレンジする勇気ももらい、心強い仲間もできた」「通い続けたことでスタッフや仲間との信頼関係ができた」「その時々合った情報や助言をもらえた」などそれぞれが拠点や拠点スタッフに関わることで受けた影響や転機となった事例を紹介いただきました。

後半のグループ交流会もゲストや拠点スタッフも交えて様々な出会いや自分なりの拠点との関わり、活動の共通のテーマなどで盛り上がりしました。最後にリーさんからは「拠点は自分に開眼して、改めて自分を生き始める、その扉を開くところ」「皆さんの活躍を願って日々暗躍している拠点のスタッフ達がいる、安心して利用してほしい」とのメッセージがあり、盛況のうちに終了しました。

利用者が持っている想いや能力、スキルが発揮できるよう、伴走するのが拠点のスタッフです。活動領域も年齢も、何もかも違うたくさんの女性たちが自分のペースで1歩1歩進んでいく姿をみて、私たちも勇気づけられています。これからも財団が持つ機能を最大限に生かして、女性たちをまるごと受け止めてサポートしてまいります。

## 企業や学校での研修をご提案します オーダーメイドセミナー

### 主な研修テーマ

- ◆ 職場のハラスメントをなくすために
- ◆ ハラスメント相談窓口担当者研修
- ◆ ワーク・ライフ・バランス
- ◆ 育休復帰支援について
- ◆ 職場のメンタルヘルス、ストレスマネジメント対策
- ◆ デートDVについて ほか

ご要望に応じたプログラムをご提案し、各テーマの専門の講師(カウンセラー・研究者・弁護士など)の手配も含め、研修をコーディネートいたします。費用は、1時間30,000円～(税抜)です。

### お客様の声

- ・ハラスメント全般に内容をアレンジいただき、次回はもう少しその先も思う。当社で実施できるため、忙しい人も受講できてよかった。(製造業・研修担当者)
- ・言葉は聞いたことがあっても、具体的にどのようなことなのか、どうすればいいかわらなかったので勉強になった。部下・パート・アルバイトを含め、指導する際にも、活かしていこうと思う。(サービス業・研修受講者)
- ・DVの種類がわかってよかった。人に対する態度を改めて考えようと思った。(高校2年男子)

ご依頼から実施までの流れ

ご依頼

ご依頼内容に応じてお打合せ

当方でいきます

研修企画のご提案

各テーマの専門講師の手配

研修資料など講師との調整

実施



## 大阪市男女いきいき財団 NEWS

発行 大阪市男女いきいき財団 正式名称 一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会  
〒543-0002 大阪市天王寺区上沙5-6-25 クレオ大阪中央内  
TEL: 06-7656-9040 FAX: 06-7656-9045 http://www.danjo.osaka.jp/

## topic1 ジェンダー課題に取り組むネットワークを CEDAW×関西女性 交流会 in クレオ大阪

12月13日に、CEDAW(国連女子差別撤廃委員会)委員の、アルナ・デヴィ・ナラン委員(モリリヤス)、ジュノペバ・ティシエバ委員(ブルガリア)、タマーデル・アル・ラマー委員(サウジアラビア)が、クレオ大阪中央に来館されました。



左からタマーデル・アル・ラマー委員  
アルナ・デヴィ・ナラン委員  
ジュノペバ・ティシエバ委員

女子差別撤廃委員会は、「女子差別撤廃条約」の進捗状況を確認するために設置された国連の機関で、条約締結国から得た情報を基に、提案や勧告を行っています。今回は、外務省の招へいプログラムで来日され、草の根で活動する団体の皆さんとの直接の交流の機会として、私達が交流の場をコーディネートしました。参加された団体の皆さんによるリリーススピーチでは、障がいのある女性の複合差別やLGBTの課題、性暴力救援センターやDV被害者支援の取組み、協議離婚における課題、男女間の賃金差別の問題など、様々な人権やジェンダーに関する課題提起がなされました。その後の自由交流では、それぞれの団体が取り組む課題について、委員から直接アドバイスを頂いたり、団体同士の情報交換を図るなど、活発な交流の機会となりました。

委員からは、「皆さんは条約の事をよくご存じで、問題意識を持ちながら活発に活動しておられることに感銘を受けました。日本で実際にどのようなことが起きているのかよく理解できました。」「今回、若者や男性も参加しています。若者も頑張っていたら、若者が育っていくことを期待しますし、男性がこのような問題に関わっていくこともとても重要なことだと思います。」というコメントを頂きました。



参加者のみなさんと

### 参加した学生の感想(要約)

- ・何となく過ごしている生活の中に、身近なものから初めて聞くものまで、様々な壁があることを知りました。委員や活動家の皆さんと直接お話しするのはとても緊張したのですが、「問題意識を持ち、その問題に立ち向かうのに、性別、年齢、所属など何も関係ない」とどのような質問も快く受け入れてくださいました。
- ・今回の交流会で、色々な形で社会に参加できることと、仲間は想像以上に、そして世界中にいることを知りました。
- ・学生の私たちでも、何か出来ることはあり、社会を変えられると信じ、私もこれから皆の笑顔のために動いていこうと思います。

## topic2 第4回大阪サクヤヒメ表彰「活躍賞」を受賞

当協会企画調整課長の沢田薫が、「第4回 大阪サクヤヒメ表彰」において「活躍賞」を受賞しました。

「大阪サクヤヒメ表彰」は、大阪の地域活性化の源となる、企業活動や文化的活動で活躍する女性リーダーを表彰するものとして、2016年度に大阪商工会議所により創設されたものです。他の女性リーダーとのネットワークを深めながら大阪における女性の活躍を推進してまいります。



## topic3 若い世代との学び合いの場

当財団では次世代を担う若い世代が学ぶ場を積極的に提供しています。

### ◇関大高等部SDGsフォーラム

6月4日、関西大学梅田キャンパスで開催された「関大高等部SDGsフォーラム」に、昨年に引き続き当財団が協力団体として参加しました。フォーラムでは、2年生約140人の生徒さんが、SDGsの17の目標の中から関心のあるテーマを選択し、テーマごとに分かれて協力企業・団体とディスカッションを行い、SDGsについて学びました。当財団は「ジェンダー平等を実現しよう」のテーマで参加。参加された生徒の皆さんからいただいた質問にお答えしながらジェンダー平等について一緒に考えました。



### ◇男女共同参画セミナーでの受入れ

「非正規シングル女性のいま 平成30年度『非正規雇用で働くシングル女性の実態調査』報告会」にて、神戸大学附属中等教育学校の生徒2名の参加を受け入れました。報告会後には、講師との質疑応答などで、さらに学びを深めていただきました。



### ◇中学生の社会貢献活動学習の受入れ

育英西中学校2年生5名の学習の受入れを行いました。後日、「実習や文化祭での経験を通して、社会の力になりたいという思いを持つことができました」という感想とともに、文化祭での売上げの一部を寄付していただきました。

その他、大学生対象のインターシップや就業体験等も実施しています。若い世代がジェンダー平等な社会で持っている力を十分に発揮できるよう学びの場を提供するとともに、ともに学び合うことで若い世代の問題意識を知り、社会をよりよくする新たな事業につなげていきます。来年度は、若年層を対象とした相談の拡充など、さらに取組みを進めていく予定です。

## topic4 男性支援の取組を拡げる～全国男性相談研修会～

第5回目となる全国男性相談研修会を主催しました。行政による男性相談の取組は、女性相談に比べて少なく、事例研究や運営ノウハウを共有する機会は貴重なものです。今回は、全国からのべ83名が参加されました。

シンポジウムでは、男の居場所を考えると題し、様々なライフステージにおける他者との関係性に注目しつつ、その背景にある「男らしさ」について議論を深めました。続いて分科会は、基礎研修、事例検討会、男性相談設立のための研修の3つのテーマに分かれて行われ、各会場にて熱心に質問する姿やメモを取る姿が見られ、具体的な対応について参加者が総合に研鑽する機会となりました。

当財団は、平成16年からクレオ大阪の事業として男性相談を実施しています。男性相談員が電話と面談で対応する取組は当時先駆的なもので、これまで全国でトップクラスの件数を扱っています。一つの社会資源としての男性相談を充実させていくとともに、ホワイトリボン(男性が主体となって暴力撲滅に取り組む世界規模のキャンペーン)への取組や関係団体とのネットワークをさらに広めながら取り組んでまいります。

### 参加者の感想

- ・事例を全国で話し合うことで、地域の捉え方から全国の捉え方に自分の視野や考え方がシフトする。
- ・男女共通する部分、男性独自の部分があることが分かり収穫でした。